

2016年1月7日 第2220回例会  
1月第1例会

RIテーマ Be a gift to the world  
「世界へのプレゼントになろう」

本年度会長テーマ  
「ロータリーを通して、互いに親しみ触れ合おう」

## 「職業奉仕月間」

### ◆ 会長時間 ◆

金本会長



皆さん、新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。お正月休みはゆっくりされましたでしょうか。それぞれに、

仕事にプライベートに気持ちをリセットされて、新しい年を迎えられたことと思います。この一年が皆様にとりまして実りある一年となりますことをお祈り申し上げます。

昨年12月24日の夜間例会並びに家族同伴懇親会では、安部理事、柴田委員長はじめ親睦活動委員会の皆さまには大変お世話になりました。準備段階で色々と工夫を凝らして頂き、スムーズな進行のもとに終えることができました。お陰様で家族ともども親睦を図ることができ大変有意義な懇親会となりました。ありがとうございました。

本年度も今日から後半戦に入りました。上半期の皆様方のご協力に対し、改めまして心より感謝申し上げます。年度の初めにRI会長賞受賞に向けて、皆様にご協力をお願いしましたが、昨年12月時点で受賞の資格要件を満たすことができました。新年早々明るいニュースをご報告できますことを大変嬉しく思います。ご協力ありがとうございました。

下期の活動も2月28日のインターシティーミーティングをはじめ重要な行事がまだまだ残っています。私自身6月が終わり香川会長年度にバトンを渡すまで、初心の気持ちを忘れずロータリー活

動に取り組んでいく気持ちであります。どうぞ引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。会員増強につきましても、これまでの結果に満足することなくさらに前進できればと思っています。

卓話の方は本日から3回に亘り「年男放談」となっています。年男を迎えられた8名の皆さん、よろしくお願いいたします。

### ☒ 物故会員に黙祷

広島南ロータリークラブ たけうち とくそう 竹内 徳三 会員  
(キリン木材(株)取締役会長)が1月4日(月)にご逝去されましたので謹んでお知らせいたします。  
(享年93歳)

### ☒ 米山奨学委員会 米山功労者感謝状の伝達



第7回 諏訪 昭登君



第5回 新原 靖君

## ● 会務報告

梶本幹事

※BOXに2014-15年度地区活動報告書を配布しております。

※他クラブ例会臨時変更

1月25日(月) 広島中央RC 施設訪問例会

1月27日(水) 広島陵北RC 1月28日3RC合同  
夜間例会

※国際ロータリー第2710地区2014-15年度 金子ガバナー、地区広島豪雨災害支援委員会より「8・20広島豪雨土砂災害復興支援報告書」送付についての案内がありました。

※福屋の香川さんより第100回院展のご招待券をいただいております。興味ある方はお帰りの際、お持ち帰りください。

※例会終了後、4階「アマリス」において1月定例理事会を開催いたしますので、理事会メンバーは出席願います。

## ● 委員会報告

※プログラム・出席委員会 小田委員長

### 出席報告

本日 (1月7日・木曜日)			
会員数	83名	出席者	72名
欠席者	11名	ご来客	4名
ご来賓	0名	ゲスト	0名
		計	76名
前々回 (12月17日・木曜日)			
		出席率	100%



大之木パストガバナーから、第2710地区内のクラブ会員の皆様への御依頼がありました。

日韓親善会議の韓国側委員長蔡熙乗氏より、日本から15,000名の出席要請があり、東ガバナーは、当地区から150名の参加を確保したいとの意向を表明されたそうです。

広島西RCからも、多数の出席をお願いいたします。

## ● 同好会報告

🎲 紫雀会 鈴木世話人

### 紫雀会12月例会のご報告

紫雀会の12月例会は年末恒例、銀山町のシサールで飲みながら、食べながら、ワイワイやる麻雀で楽しいひとときを過ごしました。

2015年度オーラスの紫雀会で優勝しましたのは、世話人 鈴木でございます。やることなすことすべて、グッドチョイスで運にも恵まれ、

どうやらシサールでの相性の良さが功を奏した様です。準優勝は、前半戦プラス140ポイントのリードを守りきれず残念ではありますが小橋さん。3位は、いつも上位入賞される実力者岡野さんでした。旨いものを食べながらの紫雀会、今年も参加者を募集しております。

次回の1月例会は、1月21日(休)午後6時よりいつもの庚午クラブの予定になっております。出欠のご連絡がお済みでない方は、ご連絡の程宜しくお願い致します。

## ● 会員記念日

🎂 祝 1月お誕生日おめでとうございます。

(7名)

岡野君 荒谷君 金本君 諏訪(昭登)君  
井原君 安部君 山下君



● スマイルボックス SAA 大植委員長

🎲 紫雀会

優勝 鈴木君 (ダブル)

準優勝 小橋君

3位 岡野君

🎄 クリスマス例会から

昨年のクリスマス夜間例会並びに家族同伴懇親会は、柴田委員長をはじめとする親睦活動委員会の皆様ほかのお蔭で大変楽しい会になりました。森信さんの満面の笑みは、後世まで語り継がれるでしょう。

福引では、不肖この私が最高額商品に当選するという不祥事が勃発してしまいました。お詫びに金一封を出宝させていただきます。

併せて、福引で1万円相当以上の景品を取得されたSAA委員会で把握している皆様、今から名前を読み上げますので、ご出宝をお願いします。ご家族が当選された方も含みます。

前橋君、中村君、加藤君、森脇君(家族)、梶本君、土井君、新原君、園尾君、鈴木君、林田君、南條君

高額賞品を2つも当てた 坂田君、渋谷君  
ダブルでお願い致します。

🎄 年男

今年、年男を迎えられる、刀禰君、垂井君、上野君、香川(基)君、篁君、小田君、井下君、蓼原君、「敵もさるもの」と人を唸らせるような、素敵な1年を送られんことを祈念しております。ご出宝をお願いします。

## 👤 全員出宝

今日より、新たな年の例会がスタートしました。今年1年、当クラブが更に発展拡大し、会員の皆様が元気にご活躍される1年であることを、心より祈念しております。ということで、全員出宝をお願い致します。

## ■ 卓 話

# 年 男 放 談



## <年男放談>

刀 禰 明 君

明けましておめでとうございます。

今年も変わらぬお付合いの程お願い申し上げます。被爆70年の節目という事で、ノルウェーオスロで開かれたノーベル平和授賞式への出席のため広島、長崎両市の被爆者二人が、去る12月11日地元の反核兵器団体が開いた集会に出席し、被爆体験を話す機会を得られました。

「何が起きたか分からないまま地面にたたきつけられ、焼けた体がパンパンにふくれ上がった人が『水をちょうだい』と言いながら死んでいった多くの人達を見送るだけ」

「子供や弱者が犠牲となるこのような事を地球上で二度と起こしてはならない」と涙声で訴えたと記事にありました。

核問題に関心を持つオスローのマリアンネ・ボルゲン市長も同席され「広島、長崎への原爆投下は歴史上の汚点だ」と話されたとのことでした。

振り返れば私も13才中学2年生で被爆し、猛火を逃れ遠まわりして当時住んでいた観音本町の家は跡かたもなく焼きつくされ、それから1ヵ月近く傷ついた体をいたわりながら不自由な野宿生活を送りながらも精神的には張りつめた気持を子供心にも持っていて、8月15日の終戦のラジオ放送を聞き力が一度に抜けた事を今もって忘れることが出来ません。

そんな私も、今年2月には84才とこれまで多くの人々のご支援を頂き生かされて来ました。

広島に原爆が落とされた時20数万人の人が亡くなっています。その後も多くの人達が、原爆症で

苦しみながら原爆病院、その他の病院で入院生活を送っている友人、知人がいます。

また今日も、世界に目を向ければ各地で紛争があり、そのたびに多くの人達が苦しみまた亡くなっています。今こそ、戦中戦後の厳しい苦しさ、つらさを体験した吾々が、声を大にして平和の尊さ、核兵器の恐さを後世に伝えなければならないのではないかと考えております。

よろしくご賛同の程お願い申し上げます。

\*\*\*\*\*



## <申の志>

垂 井 俊 郎 君

私は1944年5月15日作州津山の里の養蚕業と製紙業を営む旧家の三男に生まれる。長男は辰、次男は午、三男は申、四男は牛の兄弟は故郷の山河をかけ廻り、仲良く遊び何不自由のない幼少期でした。優しく才色兼備の母は中学時代の女子の羨望の的でした。バスケ、バイク、ブラスバンド、スキー、野球、射撃、釣、兄のする麻雀、投機版、囲碁、将棋、手当たり次第の、興味津津な少年期でした。居心地のいい縁側で模型飛行機づくりをはじめものづくりの世界へ、古き良き時代の田舎街から新しい世界へ東京砂漠の桜門建築に学び、建築家の卵に出会い天狗になる。紆余曲折を経て、1968年24歳の二足歩行の申は師匠の家から設計事務所につとめます。人間界のカオスという大海原に自ら飛び込み、そこは不夜城であらゆる建築のプランニングに明け暮れます。建築経済に呑み込まれ、旅館からホテルレストラン、ショップ、映画館・ボウリング場、キャンプゾーンを持つマスタープラン、中国地方の総合病院、銀行、学校、公共建築の会館のコンペティション、チームでの広島駅周辺の再開発、他、なかでも住宅は印象的でした。不夜城の仕事場から解放を決意し28歳、半年間は凶面は描かないと、カフェに入り浸りcafeで楽しく、自由な創造を意図してCAFと称して事務所を開業します。

1980年36歳の申は住宅・クリニック・ショップ等の設計を自由奔放に楽しんで、テレビや雑誌に出て申芝居を演じたり数寄勝手にやったものです。48歳の申年生まれの建築家は翌年平成5年に松岡さん、安部さんの勧めでRCに入会します。人との縁を喜びます。

ここで「申」とは何なのか、そもそも人生を豊かにする「申楽」という芸能は、その起源をたずねてみれば、一つには遠く海の外インドから伝わった流れがあり、また一つは神代からの伝統を継承しているものであるが、時代が変遷してしまっただので、今はもうその原始的なやり方が解らなくなっている、……。花伝書「風姿花伝」申楽者世阿弥編に神という字の偏の「示」を取り除いて隣の「申」だけを残された、それが十二支の「申」と読む字なので申楽と命名した。「申楽とは楽しみを申す」というわけです。神と言う字の最初の形で、「申」にお供えをのせる三方「示」を加えて「神」の字が作られました（中国新聞元旦より）とある。「申」は稲妻や雷で古代では最も恐れられた自然現象で、稲妻は神が現れる現象と考えていました。古からの教えてくれる大自然への畏敬の念をもちたいものです。

まえの還暦時の記憶はないのですが入会時での職業分類は建築学でした。「ひろしま美術館」での2015年5月5日の卓話は「建築は微笑」でした。人のいるところ神社と寺と家がある、建築は自然を敬い人間に学ぶこと・未完の建築、建築を愛しなさい、未来を託し、未来まで愛されたい建築家の仕事、個性とはつねに他人との関係にて輝く、のコンテンツでした。クラブの皆様の薫陶のいろいろな体験させて頂きました。入会から22年成長させてもらったと感じています。何かでお返しできないものかと考えることがあります。

人や仕事に恵まれ、元気にやれた幸運に感謝しています。

今年は、笑い・歩き・ストレッチの時間をもちたいと思っています。絵的に表現すると温泉に浸かるニホンザルになってのんびりとしたいとも思いますし、猿が進化して人になったとすれば、もう少し人間らしいこと、人道的なこともできたら嬉しいと思っています。

72歳の申年男に何ができるか、クリエイティブに挑戦したいプロジェクトがあります。建築家大会の広島平和記念聖堂「被爆建物と原爆堂計画の未来」の講演会で白井晟一プランの実現基金設立を宣言しました。その主旨を申し上げます。

私たち広島で建築設計活動をする者にとっては、

広島で建築活動を行うことそのものが平和の表現としての建築のありようを探求することです。核兵器の脅威が風化する中で改めて、未来の世界の永遠の平和への宿題である核兵器廃絶という人類の安全保障のために、私たち広島の建築家が未来に向けて何をすべきかという答えとして建築家・白井晟一の残した原爆堂の実現に向けて基金を設立し募金活動をするにいたしました。原爆堂計画は1954年太平洋マーシャル諸島ビキニ環礁において実施された水爆実験に衝撃を受けた建築家・白井晟一が1955年に核兵器の存在を人類に建築造形を通して問いかけることで、人類の共存を願うメッセージとして発表されたものです。白井晟一はこの計画の実現を夢見ていたのですが、いまだこの計画は実現されていません。私たちJIA日本建築家協会は建築家白井晟一の夢を引き継ぐことで、いつの日か原爆堂計画が実現され、人類が核兵器の廃絶された世界で共存することを希望して、原爆堂の実現に向けた努力を被爆地である広島で開始いたします。

新春に想うことは地球が穏やかであってほしい。申年は自然災害の多いという、日々の生活に笑顔が欲しい。平穏なひろしまの夢を描きます。広島には未来のネタがあります。原点に回帰して生まれる未来があります。未来に何を残せるか人間らしいことができるかどうかです。まだまだ神にも仏にも近寄りたくない申です。

結びに、今年も、汗をかき、ものを描き、恥をかきます。素直な申になりゴルフします。見て、聞いて、少しいって、老いては子にしたがい、ことわざの通り事務所の世代交代、若い建築家と語り伝え繋ぎます。幸いに我が家は解放された広いリビングダイニングがあります。皆様も新春のようにみんなが、家族が、集まり笑うことをお勧めいたします。笑う門には福至と申します。

これにて終わりです。老い猿に放談の機会をいただき感謝します。ご清聴ありがとうございました。

### ● 卓話予告

日時	テ	ー	マ
1/21(木)	年男放談3	小田君、	井下君、 蓼原君

広島西RC

検索

例会日・木曜日 12:30~13:30  
 例会場・ANAクラウンプラザホテル広島  
 会長 金本 善行  
 幹事 梶本 政明

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78  
 リーガロイヤルホテル広島13F  
 TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870  
 E-mail : hwrc@godorc.gr.jp  
 作成・会報雑誌・広報委員会